



マレーシア・ペナンにおけるライドシェアの実態調査

角南敦史・池田頌平・信夫柁人・長尾将吾・山本若菜・薄井浩太郎

Outline

1.背景・目的

2.日程

3.活動内容①（現地学生との交流）

4.活動内容②（Driverヒアリング調査）

5.Driverヒアリング調査結果

6.活動内容③（USM 交通実態調査）

7.まとめ

8.感想



背景 · 目的

1. 背景

● シェアリングエコノミーの拡大

スマートフォンやSNSの普及に伴い、
乗り物や空き部屋等を貸し借りする
シェアリングエコノミーが拡大

● シェアリングエコノミーのメリット

貸主 : リソースの活用による収入

借主 : 所有することなく利用できる

1. 背景

● 自動車の稼働率について

自家用車の平均稼働率は4.2%程度

1日のうちほとんどの時間は駐車場に置かれたまま

● ライドシェアの普及

アメリカや東南アジアをはじめとする諸外国では
ライドシェアサービスが普及



持続可能性や安全性などの面から
公共交通の代替手段になるのかは
明らかにされていない

1. 背景

● ライドシェアとは？

	ライドシェア		カーシェア	
	報酬目的のライドシェア	相乗り	C to C型カーシェア	B to C型カーシェア
シェアの形態	運転手が自家用車を用いて提供する旅客運送サービスを他者が利用	運転者の移動にかかるコスト(ガソリン代等)を利用者とシェア	保有者が提供する自家用車を他者が利用	法人がビジネスとして保有する自家用車を利用者間でシェア
運転する者	サービス提供者	もともと運転を予定していた者	利用者	利用者

スマートフォンやGPSなどのICTを活用し、移動ニーズのある利用者とドライバーをマッチングさせるサービス

例) Uber(アメリカ)
Grab(東南アジア)



1. 背景

● 日本におけるライドシェア

Uberはタクシー業者と提携し、
提携事業者とユーザを結ぶ仲介業者として
配車アプリを提供

⇒ 待ち時間が可視化, 支払いがアプリ経由など
便利なタクシー

● ドライバーの条件

誰でもドライバーになれるわけではなく、
有償で人を運送する際は許可が必要

⇒ 誰でも気軽にドライバーになれる
Uberらしさが発揮されていない

1. 目的

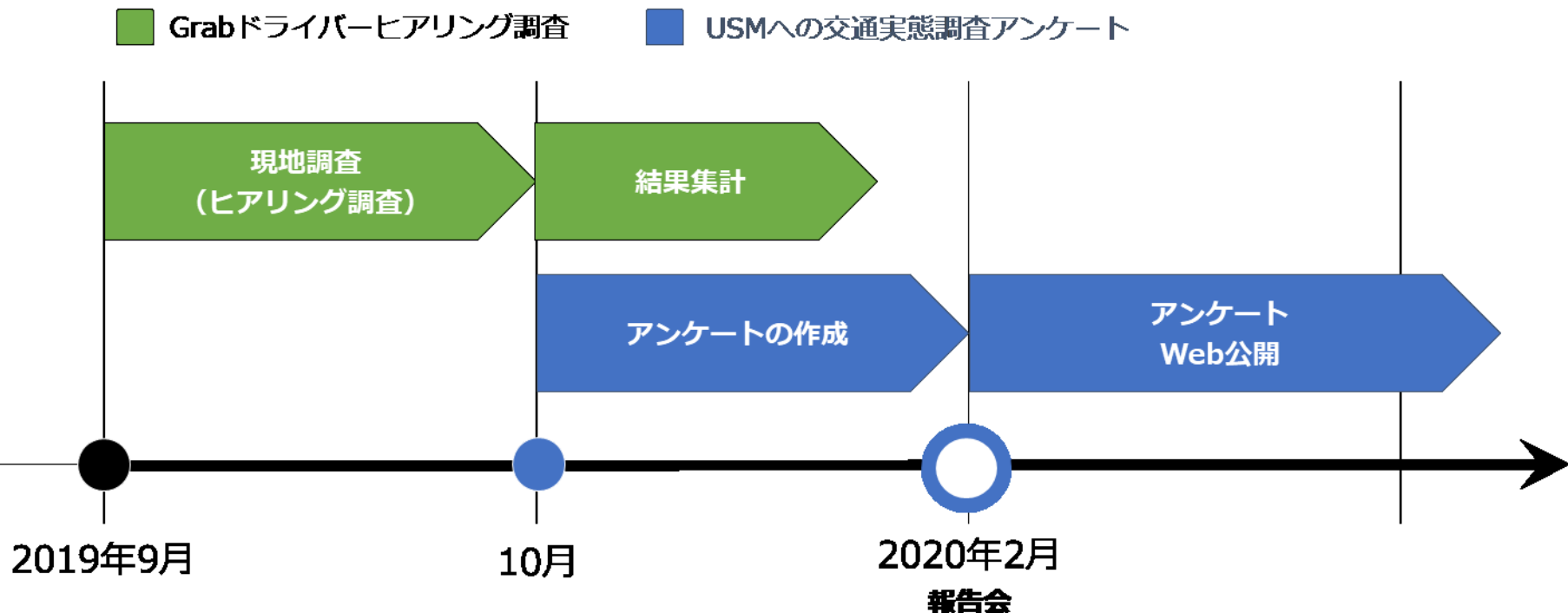
- 日本における導入可能性について検討する為に普及地域での**利点及び問題点を把握し現状を整理する**
- マレーシアペナン州で**ドライバーとユーザ**の両面から調査を行う



研修日程

2. 日程




- ・ペナンでは、**Grabドライバーへのヒアリング調査**
- ・帰国後、現地学生を対象とした**Grab利用状況に関するWebアンケート**を作成
- ・Web上に公開し、結果の収集・分析を行う



2. 日程

9月

2019

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7 魚沼着 
8	9	10	11	12 USM Civil 訪問	13	14
15 尾・信夫着 	16	17	18 山本・薄井・ 地田着 	19 本調査開始	20 ミーティング	21 Grab調査
	23 USM Engineering	24 DISTED College	25 USM 卒業式	26	27 Grab調査	28 帰国
29	30					

Grab調査

→実際にGrabに乗車しヒアリング調査

現地学生との交流

→USM・DISTED Collegeの学生と交流

はじめに

現地学生との交流

3. 現地学生との交流



DISTED College学生と交流



USM Fadhの研究室訪問

3. 現地学生との交流



USM REDAC訪問



USM 卒業式見学

3. 現地学生との交流



Wei Chunとジョージタウン観光



ハリマとごはん

Grabドライバーへのヒアリング調査

4. Grabドライバー ヒアリング調査

● 調査概要

・ 目的

ライドシェア 供給側の実態把握

・ 調査日

2019/9/21(sat.) & 9/27(fri.)

・ 調査場所

ペナン島東部
→ペナン州の市街中心部や空港周辺等
ライドシェアの利用が盛んなエリア

・ 方法

2人1組

(1人インタビュー・1人記録)

3組で調査を実施

1日1組10トリップ

2日、3組で合計60サンプル取得

2019/9/21(sat.)の調査トリップ



4. Grabドライバー ヒアリング調査

● 質問項目

① ドライバーに関する質問

- ・ 性別
- ・ 年齢
- ・ 働き方 (main / part time)
- ・ ドライバーとして働く日
- ・ ドライバーとして働く時間
- ・ 収入 / 売上

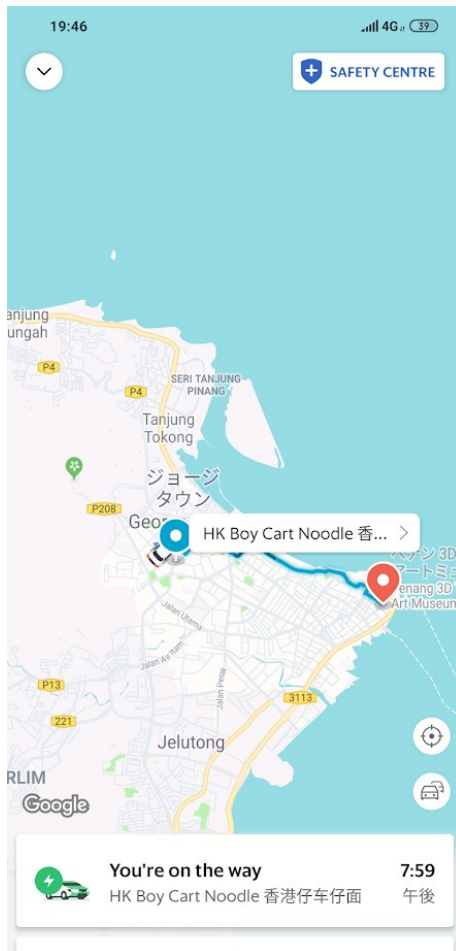
② Grabの利用者に関する質問

- ・ 利用者の目的
- ・ 1トリップ当たりの移動距離
- ・ 1日当たりのトリップ数
- ・ 乗客に対して危険を感じたことはあるか

4. Grabドライバー ヒアリング調査

● 調査の様子

配車



ヒアリング調査

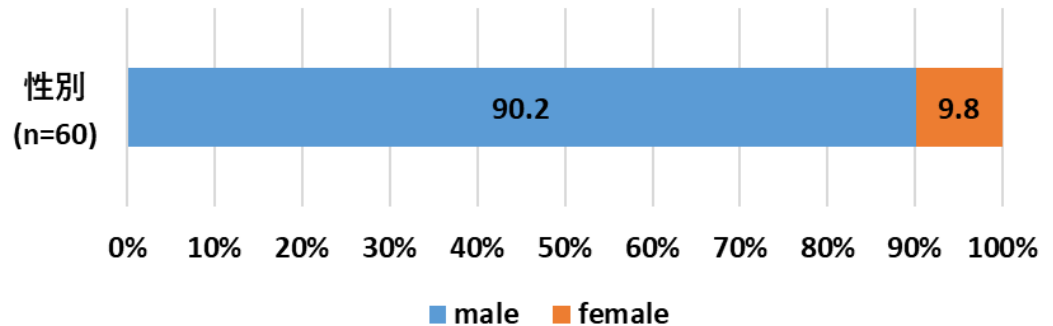


協力していただいた
ドライバーの方には
チップの支払い

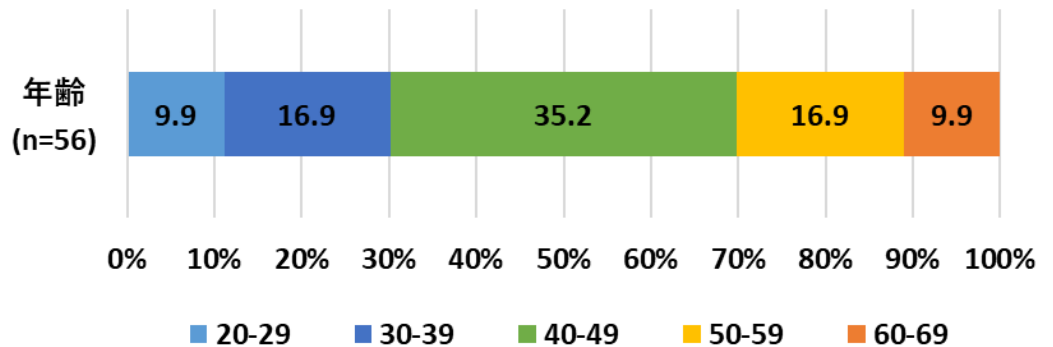
5. ヒアリング調査結果

● ドライバーの属性

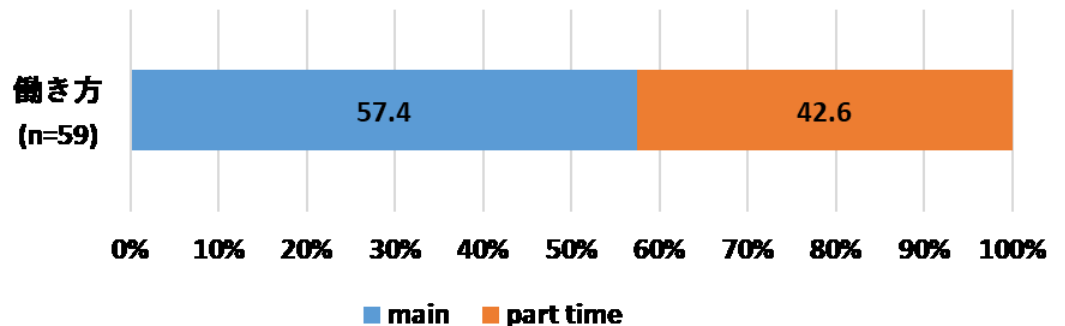
- ・ ドライバーのほとんどが男性



- ・ ドライバーの3割以上が40代

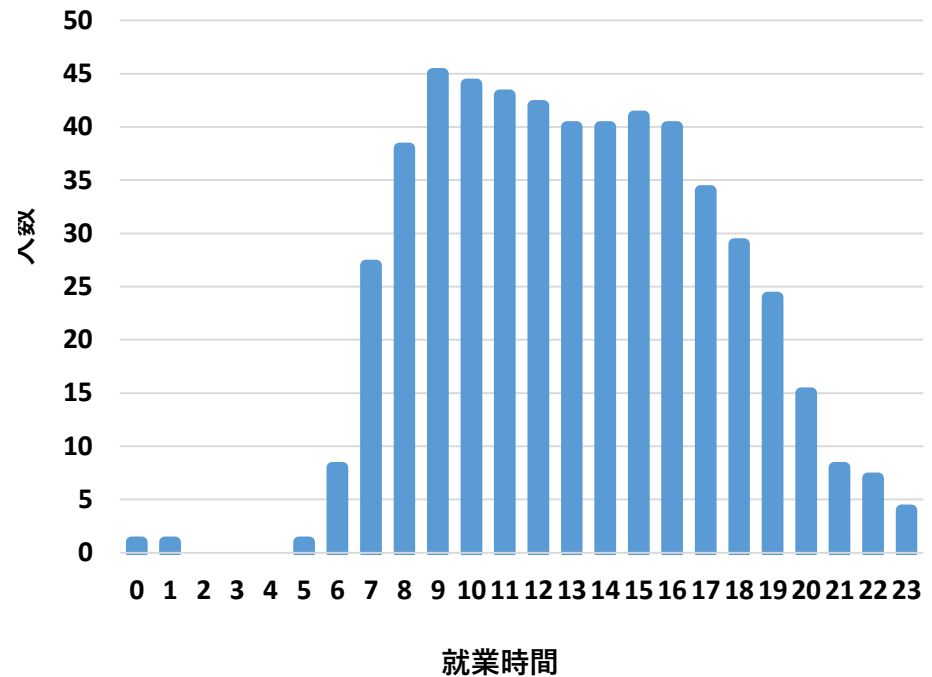
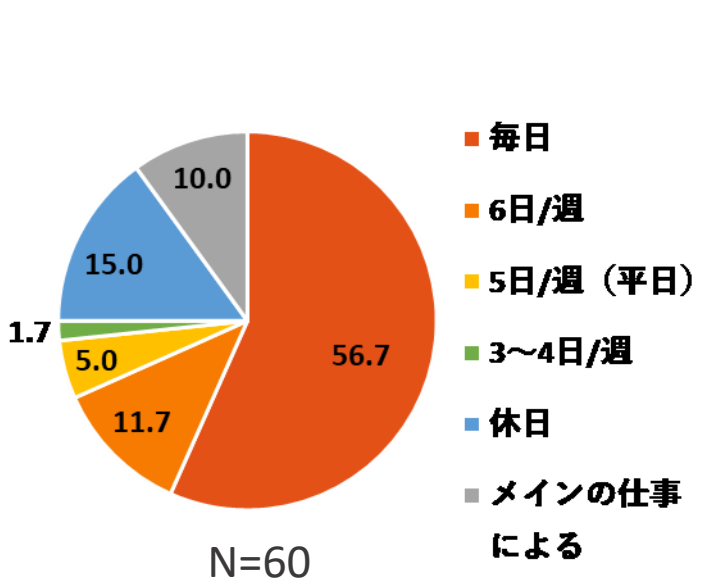


- ・ ドライバーをメインの仕事とする人が半数以上



5. ヒアリング調査結果

● 就業時間

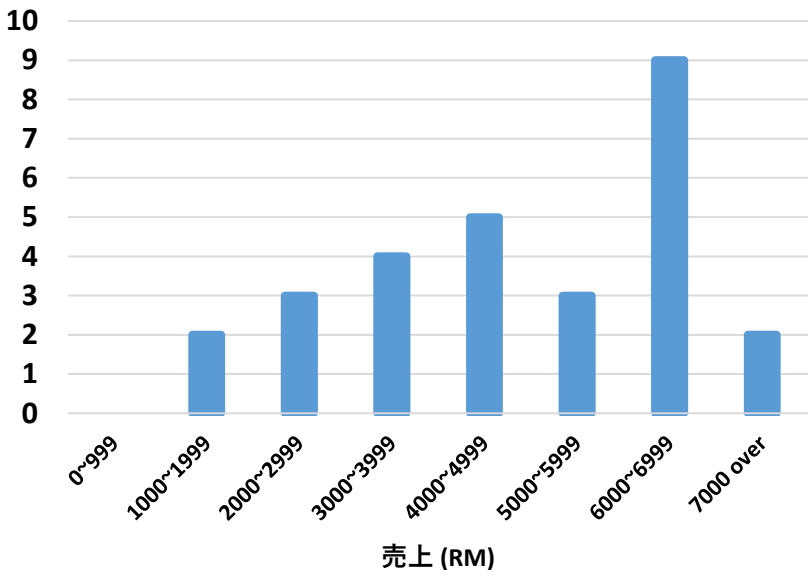


- ・ 大半のドライバーが毎日働いている
- ・ 日中の勤務が多い
- ・ 利用者の目的は、観光・出勤・買い物・外食など様々

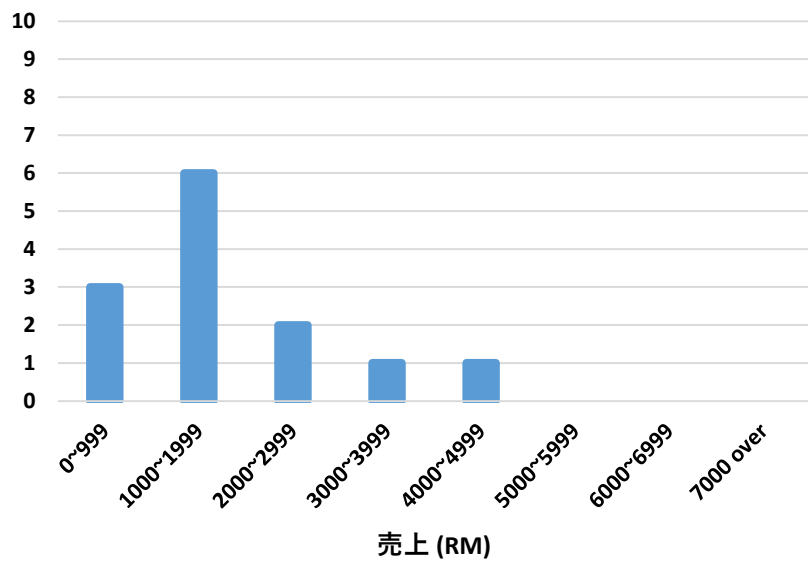
幅広いニーズに対して、Door to Door の公共交通として対応

5. ヒアリング調査結果

● 収入



月間売上 (main)



月間売上 (part time)

Grabへの支払い：25%程度
ガソリン代・車両メンテナンス代：15%



手取りは売り上げの
60%程度

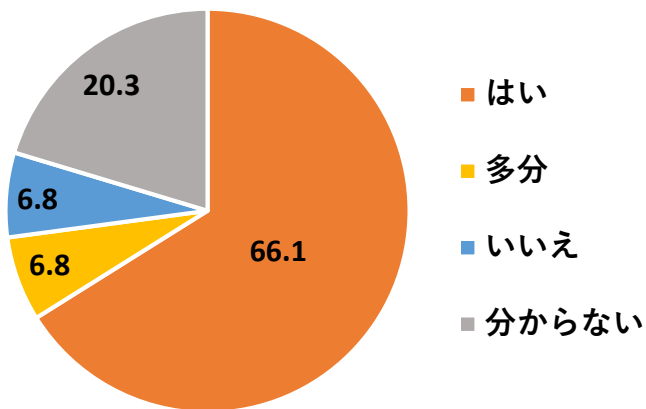
Grabドライバーの収入のみでは十分ではないと答える人も多い

* マレーシア平均月収：2463RM (2016年)

5. ヒアリング調査結果

● 将来継続

今後もドライバーを続けますか？



N=59

- ・ 今後も続ける予定のドライバーが7割程度

意見

- ・ Grabドライバーとしての収入だけでは不十分
- ・ ほかに良い仕事が見つかるまでの小遣い稼ぎ
- ・ 2019/10~
ドライバーへのPSV*免許取得義務
ドライバー不足への懸念...

*Public Service Vehicle License (旅客自動車免許)

収入が不十分
ドライバーへの負担

5. ヒアリング調査結果

●まとめ

・現状

Grabドライバーをメインの仕事として働いている人も多く、特に日中は住民や観光客の重要な交通手段として機能

・課題

Grabドライバーの収入のみでは不十分と感じる人が多い
PSV免許取得義務によりドライバー減少の懸念
⇒供給量の変動 / 減少

現地住民（USM）への交通実態調査

6. USMへの 交通実態調査

● 調査概要

・ 目的

現地住民にとって日常交通における
ライドシェア（Grab）の位置づけの把握

・ 実施期間

2020年2月後半～

・ アンケート対象

USM（マレーシア科学大学）の学生とスタッフ
（USM学生数：約25000人、スタッフ数：約1300人）

・ 方法

USMメーリングリストを利用

6. USMへの 交通実態調査

● アンケート項目

① 個人属性

- 性別
- 民族
- 職業
- キャンパス
- 居住地
- 運転免許保有の有無
- 自由に使える乗り物種類

② トリップ行動（通学、買い物、外食）

- 出発地
- トリップの頻度
- 出発時間
- 到着時間
- 移動手段
- その移動手段を選択する理由

6. USMへの 交通実態調査

● アンケート項目

③ Grabに対する認識

- Grabドライバーか
- Grabを使用しているか
- Grabを利用中に危険な場面に
出会ったことがあるか
- Grabのメリットは
- Grabのデメリットは
- Grabの便利さは星いくつ
- 総合的にGrabは星いくつか

Trip Behaviour

Please answer your usual trip behavior in each purpose below.

About your purpose :Commuting to University

Q1:Please select a starting point. **Required**

Home | Univer| Hostel | Others

Q2:Which days do you usually commute to university? **Required**

Check all that apply

Monday | Tuesday | Wednesday | Thursday |
Friday | Saturday | Sunday

Q3:What time do you usually leave home to university? **Required**

Hour : minute

Q4:What time do you usually arrive at university? **Required**

Hour : minute

Q5:How do you usually go to the university? **Required**

Check all that apply

Car | Motorc | Bicycle | E-hailin |
Railway | Ferry | Public | Free bus |
Walk | Other

Q6:Based on answer Q5
please state your reason of choosing that mode.
(ex: I don't have car/it is easier/it is cheaper)

The perception of "e-hailing" (Grab)

Q1:Do you drive Grab? **Required**

Yes No

Q2:Do you use Grab? **Required**

Yes No

Q3:Have you ever encountered any accident
when riding/driving Grab? **Required**

Yes No

Q4:In the scale of five, do you think about Grab fare?
(In terms of cost performance) **Required**

Expensive ★ ★ ★ ★ ★ Cheap

Q5:What is the good point about riding Grab
compared to other alternatives?
(ex: very easy to book/cheap/faster etc.)

Q6:What is the bad point about riding Grab
compared to other alternatives?
(ex: very hard to book/costly/not comfortable etc.)

Q7:Do you find Grab convenient for you? **Required**

Not convenient ★ ★ ★ ★ ★ Convenient

Q8:Totally how do you feel Grab? **Required**

Bad ★ ★ ★ ★ ★ Great

まとめ

7. まとめ

ライドシェア普及地域において、その現状・利用実態を調査

① Grabドライバーへのヒアリング調査（供給）

- ・ペナンでは、住民や観光客の主な交通手段となっている
 - ・大半のドライバーが毎日働いており、特に日中を中心に移動需要にこたえている
 - ・収入に満足している人は多くない
 - ・制度の改正（PSV免許）により、ドライバーへの負担が増加
- ⇒ドライバーの減少
- ⇒ **ドライバーの満足感、負担などが供給量を変動させる恐れ**

② USMへの交通実態調査（需要） ※今後の予定

- ・ライドシェアは、現地住民の日常交通に使用されているのか？
- ・どのような場面で使用されるのか？

持続可能な交通システムとなり得るのかより深く考察

他国のライドシェア事情の調査

8. 感想

- **現地学生との交流**

英語が苦手だったが、英語を話してみることができるようになった
さらに英語力を挙げれば、より楽しく交流ができると感じた

- **Grab ドライバーへのヒアリング調査**

生計を立てるためにドライバーをしている人がいる反面、
趣味のように気軽にしている人もいた
⇒ライドシェアドライバーへの印象の変化

- **その他**

食べ物がとてもおいしかった (Saya suka makan.)
マレー語をさらに話したい! (Saya boleh cakap Melayu sikit-sikit !)

Sangat Terima kasih !



Thank you for your kind attention !!